

令和6年2月9日
教育研究・ICT推進課

第14回世田谷ガリレオコンテストの実施結果について

区立中学生の科学への関心を高め、豊かな創造力と問題解決の力を育み、学ぶ意欲を醸成するため、自然科学や情報技術等に関する研究作品を募集し、「第14回ガリレオコンテスト」を実施したので報告する。

- 1 日 時 令和6年1月20日（土）午後2時から午後5時まで
- 2 会 場 世田谷区立教育総合センター「たいよう」及びオンライン配信（Zoom）
- 3 今年度の実施概要
 - (1) 研究発表
第1・2次審査を経て選出された9名の生徒が、研究発表を行った。
 - (2) 講演会
講演 未来をつくる科学技術
講師 河合 孝純 教授（東京都市大学 デザイン・データ科学部）
- 4 参観者数 115名（会場 56名）
（オンライン 25名）
- 5 応募総数 2,253点
- 6 審査結果
 - (1) 受賞者
 - ①ガリレオ賞（最優秀賞）
中間 正（三宿中学校2年）「モスキート音を不快に感じる原因を探る！」
小舘 七菜（用賀中学校2年）「AIを楽しむための研究」
三由 悠文（用賀中学校1年）「水の膜について」
 - ②アイデア賞（優秀賞）
若原 啓正（喜多見中学校1年）「植物の蒸散量と気温の関係」
岡本 葵（奥沢中学校1年）「植物にさまざまな音を聞かせたときの成長の違いについて」
 - ③ドリーム賞（優秀賞）
岡部 理央（桜丘中学校1年）「暑くてもとけにくいチョコレートの条件とは」
伊澤 駿（駒沢中学校2年）「皮の役割」
 - ④サイエンス賞（優秀賞）
高木 一華（上祖師谷中学校2年）「色と温度の関係 Part.2」
神谷 薫子（上祖師谷中学校1年）「ヘチマの最適な発芽条件の調査」

(2) 審査員

大学副学長、財団職員、中学校校長・副校長、指導力向上サポート室教官の計8名で構成

7 協力団体 東京都市大学、東京農業大学、一般財団法人材料科学技術振興財団、公益財団法人加藤山崎教育基金、公益社団法人世田谷工業振興協会

8 その他

(1) ICT子どもインフルエンサーによるICT活用紹介

(2) 研究ポスターを教育総合センター1階「らぼラボ」にて、1年間展示

(3) 令和6年3月に、YouTubeによるオンデマンド配信を開始予定